

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年12月6日

新型コロナパンデミック中のニコチン入り電子タバコ使用増加に関連する因子：コロンビア18～59才層

【松崎雑感】

アメリカの青少年が最も多く使用するタバコ製品は、電子タバコで、紙巻きタバコの数倍です。電子タバコすべてがニコチン入りカートリッジやタンクを使っているわけではありませんが、使用の外形を見ると、紙巻きタバコ喫煙と非常に類似して売られるため、電子タバコを通じて、ニコチン入り製品を使うようになるリスクが高いと思われます。コロンビアにおける調査で、パンデミック下のストレス状況では、ニコチン入り電子タバコと紙巻きタバコ使用に深い関係があることがわかりました。この点を考慮して、ニコチン依存症防止戦略を考える必要があると思います。

新型コロナパンデミック中のニコチン入り電子タバコ使用増加に関連する因子 ：コロンビア18～59才層

Maldonado Viasús DC, Perdomo GA, García Duran MC, et al. **ENDS consumption in students of higher education: Phenomenon on the rise during the COVID-19 pandemic.** *Tob Induc Dis.* 2022;20:100. Published 2022 Nov 14. doi:10.18332/tid/154970

はじめに

新型コロナパンデミック中に、様々なライフスタイルの変容が見られた。**ニコチン入り電子タバコ (ENDS)** 使用増加についても同様である。本研究では、コロンビアのボゴタの学生（18～59才）におけるENDS使用率に関連する因子を検討した。

結果

断面的オンライン調査を3985名に行い、3573名から回答が得られた。女性61.5%、18～26才が55.3%、27～59才が44.6%。

パンデミック中のENDS使用率は7.3%。

若年者ほどENDS使用率が高かった。

女性は男性より有意に使用率が低かった（オッズ比0.38、95%信頼区間0.2～0.5）。薬物依存症（歴）のある人々（3.59、1.0～12.0）、紙巻きタバコを含むタバコ製品使用歴のある人々（5.12、3.0～8.5）、パンデミック中紙巻きタバコ喫煙を行っていた人々（3.15、2.3～4.2）、リモート授業受講者（1.52、1.0～2.3）、同居者がENDSを使用している（オッズ比3.86、2.8～5.2）、メンタルヘルス低下を訴える人々（1.48、1.1～1.9）で、有意にENDS使用率が高かった。

結論

男性、26歳未満、薬物依存症歴、紙巻きタバコ使用歴、パンデミック中喫煙あり、同居者がENDSユーザーであることが、パンデミック中のENDS使用率を有意に高めていた。

パンデミックによるストレスが特に若い人々にニコチン依存症リスクを高めることについて、しっかりした対策が必要である。